



## ヨシ実用化について

葦は古来豊葦原の瑞穂の国と言われ  
葦は神聖な植物として茅の輪・破魔矢などに  
使用されています。

文化的には祇園祭の「芦刈山」は  
この葦に由来している。

今回、祇園祭に使われる「ちまき」を  
モチーフにした箸袋とヨシ箸をジョイントして  
「ちまき箸」を2018年より販売しています。



今年は京都女子大学の家政学部生活造形学科の  
場由芽子さんがデザインした  
「ちまき」をイメージしたパッケージに  
リニューアルしました。  
パッケージは色違いや文字違いの4種類を  
用意しています。



## 京都エコスタイル認定製品

環境に優しい葦(ヨシ)の箸

バイオマスプラ製

## 環境にヨシの箸



## 有限会社 ワイエス商事

葦(ヨシ)を微粉碎し商品化し水分調整と特殊樹脂によりペレット化し商品化しました。お箸先端部の材料はエンボス加工(キザミ)する事で滑り止めし、耐久性、耐熱性、食品衛生、食洗器使用可です。使用後の分別処理不用です。木質感のあるエコ箸です。



## バイオマス箸について

バイオマス箸は葦(ヨシ)北山杉、竹 蕎麦他での商品が可能です。バイオマス燃料としてエネルギーに使用されることが多いですが木材のペレット化は国内商品のコストが高く、輸入に頼っているため、できるだけ国内の材料を使用する事で自然保全の大切さをアピールできます。

## 環境問題への社会貢献について

お箸は環境問題として多少なりとも循環社会(生物多様性劣化の防止)に貢献しています。宇治川のヨシ原もツバメのねぐら、水質浄化、動植物の生息地として保全する事が重要です。ヨシ刈り、ヨシ焼きを市民活動として実施し、そのためのボランティア活動の一翼を担う上で、葦のお箸の知名度を上げたいと思います。

## 葦の使われ方について

古くから豊葦原の瑞穂の国を言われ、葦は神聖な植物として、茅の輪、破魔矢、現在の神社仏閣の屋根材に使用されています。文化伝統的には謡曲芦刈祇園祭「芦刈山」に由来し雅楽の箏篳のリードにも使用され谷崎潤一郎の小説「芦刈」にも記載されています。

## エコ・トピックス

文化伝統に関係している葦は環境保全・安心・安全の立場とバイオマス材料(葦・杉・竹など)で物づくりをする事により地産地消に繋がり共生社会にも役立ち併せて昨今の海洋マイクロプラスチック(ストロー・レジ袋等)の削除の中でバイオマス商品の役割も高まると思います。更なる動きとして環境に配慮した商品を好む「エシカル(論理的消費)」が浸透しつつあり、エシカル商品サービスの提供が企業イメージ向上に繋がる考えが求められています。





現在、自然および資源を大切にする社会へ少しずつ  
変わり始めています。

無くなってしまった巨椋池からヨシ原に棲息していた水生植物を  
守り育てる事が自然環境を守る事の一步になると確信しています。

最後の写真は宇治川の夕空に舞うツバメの写真です。

この下には、関西で最大の巨椋池のなごりであるヨシ原が広がっています。

将来にわたり、残していきたい景色の一つです。

自然を大切にする行動が未来の人類の幸福になっていく事を  
心から願っています。

宇治川のヨシを守るネットワーク  
有限会社 ワイエス商事  
代表 中野彰三

TEL 090-1445-0954